

就学前保育・教育の充実に向けて

1 課題

(1) 保育所

- ① 待機児童の解消、② 保育士の確保、③ 保育・教育の質の向上
- ④ 職員の労務環境の改善と研修時間の確保

(2) 公立幼稚園

- ① 児童の定員割れ、② 教員の確保、③ 教育の質の向上、
- ④ 職員の労務環境の改善

2 現状（利用状況）

本市における3～5歳児の利用状況は、保育所1,756人(55.9%)、幼稚園1,300人(41.4%)となり、保育所利用が半数以上となっています。

また、公立と私立では、公立保育所・幼稚園は1,166人(37.1%)、私立保育所・幼稚園は1,890人(60.1%)となり、私立保育所・幼稚園の利用が60%を超えています。

(H29.4.1 現在)

	彦根市 人口	保育所(*1)入所児童			幼稚園(*2)利用児童			備考
			内公立	内私立		内公立	内私立	
0～2歳	3,023人	925人 30.6%	101人 3.3%	824人 27.3%	— —	— —	— —	
3～5歳	3,143人	1,756人 55.9%	280人 8.9%	1,476人 47.0%	1,300人 41.4%	886人 28.2%	414人 13.2%	
計	6,166人	2,681人	381人	2,300人	1,300人	886人	414人	

注) %は、彦根市人口に対する割合です。

*1 保育所には、認定こども園(2・3号認定)、地域型保育事業を含みます。

*2 幼稚園には、認定こども園(1号認定)、私立幼稚園を含みます。

3 保・幼・小の連携について

彦根市就学前教育推進協議会において調査・研究等することとしています。

この就学前教育推進協議会の趣旨は「人間形成の基礎を培う就学前の教育の重要性を深く認識し、保・幼・小の一貫した保育・教育の推進、家庭・地域との連携、社会的・福祉的立場からの課題等を明らかにし、より一層実情に即した就学前教育の充実・振興を図る」とし、公開授業、公開保育の実施と、保・幼・小の連携の会の開催を実施しています。

活動内容：保育所（１園）における公開保育・研究協議会（１回）
幼稚園（１園）における公開保育・研究協議会（１回）
小学校（１校）における公開授業・授業研究会（１回）
保・幼・小の連携の会 全体研修と話題提供（H29 は鳥居本学区）
冊子「つなぐ」の発行

4 就学前保育・教育の推進

（１） 公立保育所・幼稚園

- ① 公立幼稚園の認定こども園化による、待機児童の解消・施設の整備更新
- ② 職員研修の充実（保育所も幼稚園も同じように）
- ③ 幼児課の指導体制の充実

（２） 民間保育所・認定こども園・私立幼稚園

- ① 市全体のレベルアップを図るための研修機会の提供
- ② 保育・教育振興のための支援
- ③ 幼児課の指導体制の充実

（３） 保・幼・小連携

学区ごとに行われている、保・幼・小の取り組みを把握するとともに、教育委員会・子ども未来部が連携し、更なる充実に向けて検討を進めます。

5 その他

彦根市の特徴として、民間保育所・私立幼稚園を利用する児童数が多いことが挙げられます。就学前保育・教育の充実を図るためには、「保育所か幼稚園」や「公立か民間・私立」といった視点ではなく、「保育所も幼稚園も」、「公立も民間・私立も」といった視点で取り組む必要があります。

また、待機児童が発生している一方で、少子化が進行しており、今後更なる保育所の新設については、慎重に検討する必要があります。

子ども・若者プラン等で示しているとおり、待機児童の解消を含めた、就学前保育・教育の充実のための施策として、推進体制の構築と、公立幼稚園の認定こども園化を主な柱として展開する必要があると考えています。